

令和7年度 租税教育に関する研究発表要項

亘理町立亘理小学校
教諭 笠松 義幸

1 研究主題

税の意義や役割に対する興味・関心を高め、自分たちの生活との関わりを考えようとする児童の育成

～税について課題をもち、主体的に調べたり学んだりする活動を展開する学習～

2 主題設定の理由

児童は、社会科の「国の政治のしくみと選挙」「震災復興の願いを実現する政治」の学習で税金の働きについて学習した際には、さまざまな公共サービスにかかる費用や、被災地の復旧・復興に関わる予算などについて、税金が、わたしたちの生活や社会を支える大切なものということについて学んできた。

昨今、衆・参議院選挙に伴う、減税に関する各党の公約や、大阪万博に関連する税金の有効活用について等、児童にとっても税金に関わるニュースをテレビやSNSなどのメディアで目にすることが多い。しかし、児童にとって、前述の内容については、一過性のものであったり、常に日常生活に関わっていたりするものではないので、メディアや社会科で「税金」という言葉は何度も見聞きしているものの、正しい知識を身に付けている児童は少ない。

そこで、社会科で学んだことをもとに、税金について自ら課題をもち、主体的に調べる学習を展開することで、税金に対する興味・関心を高め、意義や役割を理解しながら、自分たちの身近な生活に関わりについて学びを深めることは、大変意義のあることであると考え、本主題を設定した。

3 研究目標

税の意義や役割に対する興味・関心を高め、自分たちの生活との関わりを考えようとする児童を育成する指導の在り方を探る。

4 研究の方法

- (1) 税金に対する事前調査を行う。
- (2) 租税教室を通し、税金について興味・関心を高めさせる。
- (3) 社会科の学習を展開する中で、税金に関する意義や役割等の視野を広げさせる。
- (4) 課題を設定し、資料やインターネット等を活用して調べる。
- (5) 学級で発表会を行い、お互いの知識を共有する。
- (6) 5学年児童や保護者への発表会を行う。
- (7) 事後調査を行い、変容を考察する。

5 研究の計画

令和7年度	4月	事前調査
	5月	租税教室 国の政治のしくみと選挙（社会科）
	6月	震災復興の願いを実現する政治（社会科）
	7月	税に関する絵はがきコンクール
	9月	実践授業
	10月	事後調査① 研究のまとめ
	11月	研究発表
	12月	5学年児童や保護者への発表会 事後調査②

6 研究の概要

(1) 事前調査（令和7年度 6年3組 男18名 女18名 計36名）

税に対する事前調査		
令和7年4月実施 (欠席1名)		
①税金は必要だと思いますか。		
	人数	記述内容
必要	23	町（公共施設や公共サービス）がなくなりたなくなる。(16) 学校に行けなくなるから。(6) 税金が国やみんなをささえているから。
どちらかといえば必要	12	町（公共施設や公共サービス）がなくなりたなくなる。(9) 税金がないとみんなが不便になる。(2) 国のためになるから。
必要ではない	0	
わからない	0	
②税金にはどんな種類がありますか。(複数回答)		
<ul style="list-style-type: none"> ・消費税…32人 ・所得税…15人 ・ガソリン税…5人 ・自動車税…3人 ・住民税…2人 ・固定資産税、森林保護税、住居税…各1名 		
③税金は何に使われますか。(複数回答)		
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設や公共サービス…35人 ・公務員の給料…2人 		

・年金… 1人

④税金について、詳しく調べてみたいことはどんなことですか。(複数回答)

- ・税金の種類… 5人
- ・消費税について… 4人
- ・税金の使われ方… 3人
- ・税金を納める人について… 1人
- ・思いつかない… 25人

⑤税金からイメージすることは何ですか。

- ・安全、安心に暮らすために必要、税があるから未来は明るいなど、公共施設を含め、無いと自分たちが困るという記述が見られた。その他、種類が多い、高い、国民、総理大臣、103万円の壁などの記述が見られた。

⑥税金を払う人はだれですか。(複数回答)

- ・国民と答えた児童が多く、大人、親、18歳以上・成人した大人などの記述が見られた。

⑦お家で税について話題にしたことがありますか。

	人数	記述内容
ある	9	消費税について。(5) 税金が高いことについて。(2) 103万の壁について。 テレビで税について放送していて、父が説明してくれた。
ない	26	

⑧その他(自由記述)

- ・消費税が8%のと10%のとがあるのはなぜ。(2)
- ・必要なものか見極めて税金を集めて欲しい。
- ・食品の値上げ。

- ・税金という言葉聞いたことがあっても、正しく認識している児童は少ないということが分かった。
- ・全体的に、無解答や「分からない」という解答が多く、「税金」そのものの認識がない児童が多いということが分かった。
- ・生活に密着している消費税についてはほとんどの児童が意識していた。
- ・消費税のイメージが強いためか、マイナスの考えをもつ児童が見られた一方で、「国のために使われている」等、国との関わりを意識している児童も見られた。
- ・家庭内で「税」について話題にしたことがある児童は、四分の一ほどであった。

以上のような児童の実態を踏まえ、まずは「税金とは何か」を知ることが第一であり、どのように使われ私たちの生活を支えているのかを理解させていきたい。また、家庭でも気軽に話題にできるような学習を展開していきたい。

(2) 指導計画 (10時間扱い 本時8/10)

月	教科	主な学習内容	時
4	学活	アンケートを実施し、児童の実態を把握する。	0.5
5	総合	租税教室を通し、税金について知り、興味・関心を高める。	1
	社会	選挙のしくみと税金の働きについて学び、公共サービスにかかる費用をまかなう税金の使い方について理解する。	1
6	社会	復旧・復興に向けた国の支援について学び、東日本大震災復興基本法や復興のための予算、被災地の支援について理解する。	1
7	図工	税に関する絵はがきコンクールに取り組み、参加することで、自分たちの身近な生活と税との関わりについて、さらに興味・関心を高める。	1
9	総合	税について、さらに詳しく調べたいと思ったことについて課題を設定する。 課題について資料やインターネットなどを活用したり、取材したりして調べる。	3
		発表会を行い、調べた内容を友達同士で共有し合う。 発表会で得た共有の学びを自分の課題やまとめを再考しながらさらに加筆修正を加える。	1 本時
10	学活	アンケートを実施し、児童の税についての変容をみる。	0.5
12	総合	5学年児童や保護者への発表会を行い、自分たちが調べ、まとめたことを伝えたり、広げたりする活動を味わわせる。	1

(3) 租税教室 (令和7年5月28日)

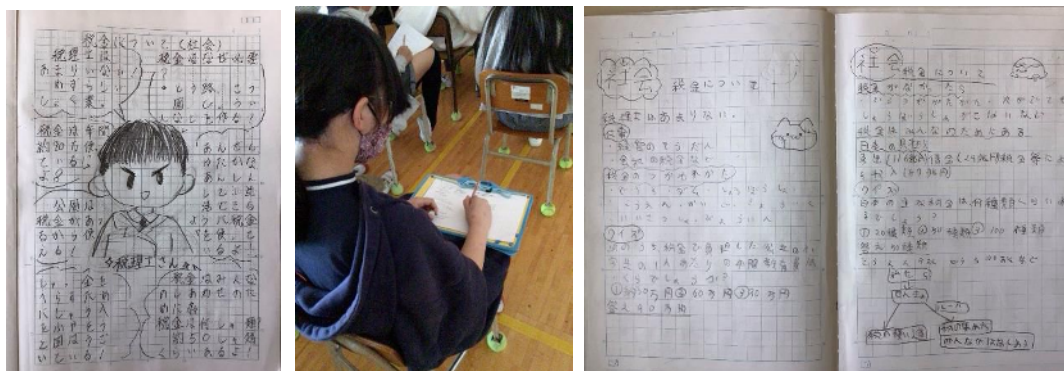
税金の意義や役割について、クイズなどを交えながら詳しく教えていただいた。税金の「使われ方」「税金がないとどうなるか」等について、非常に高い関心を持ち、ほとんどの児童が一生懸命メモをとっていた。その中で、公共サービスに関わる内容や、税金を公平に使うことの難しさに気付く児童も見られた。また、小学生一人あたりに使われる税金や日本の財政についてなど、具体的に記述した児童もいた。税金の種類や使い道について、さらに深く知りたいという児童の姿も見られたので、社会科の学習と関連させながら、税についての理解を深めさせ、多くの知識を得ることのできる活動の必要性も感じる事ができた租税教室であった。

租税教室後の感想には、以下のようなものが見られた。

- ・税の種類が50種類もあるということがびっくりしました。税金はみんなの幸せのために使われていることが分かったし、もっと税金について勉強したいです。



- ・税金はいろいろな種類があって驚いた。税金は、いろいろなことに役立てられているので大切だと思いました。
- ・国は高額の借金をしていることや、高齢者が増えて税金が多くかかっていることなどの課題も勉強できました。



(4) 実践授業 (令和7年9月26日)


①目標


- ・税について調べたことについて発表会を行い、学んだことを共有する。
- ・税の主体者は自分たち国民であり、税金の大切さについて理解することができる。

②指導上の留意点

- ・税金の意義や役割、自分たちとの生活との関わりを中心に、お互いの知識を共有しながら、5学年児童や保護者への発表会に向け、自分の資料を再考する重要な時間であることを意識させる。
- ・自分たちの生活を支えてくれる税金は、なくてはならないものであり、自分たちの生活に使われていることを再確認させる。

③指導過程

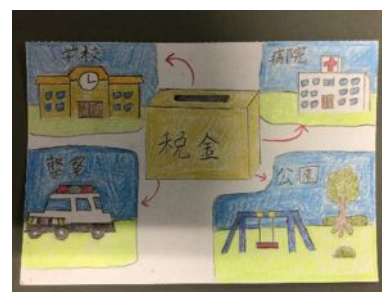
段階	学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点	評価
導入	1本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">発表会を行い、学んだことを共有しよう。</div> 	これまで学び、まとめた成果物を発表し、知識を共有しながら、5学年児童や保護者への発表会に向け、自分の資料を再考する重要な時間であることを意識させる。	
展開	2発表会、意見交換会をする。	各グループの発	税につい

	<ul style="list-style-type: none"> ・税金の種類について。 →税金の種類はとて多くてびっくりした。 ・税金の集め方について。 →自分たちの身近な税は「消費税」だと感じた。 ・税金の使われ方について。 →税金は国、人、他にもたくさんの物に役立っている。 ・税金の歴史について。 →税金は弥生時代からあったと知ってびっくりした。 ・世界の消費税について。 →外国と比べてみると日本の消費税は少ない。 ・世界の変った税金について。 	<p>表内容から、似ているカテゴリーごとに構造化し板書を行う。</p>	<p>て調べたことについて発表会を行い、学んだことを共有することができたか。</p>
<p>終末</p>	<p>3本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の感想を発表し合う。 ○身の周りにある、たくさんの税金が使われた物などを大切にしていきたいと思った。 ○税金のおかげで、道路など生活に必要な物がつくられていて、ありがたいと思った。 ・次時の学習内容を確認する。 <div data-bbox="635 1108 933 1332" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">税金の使い道</p> <p>税金とは、年金、医療などの社会保障・福祉や、水道、道路などの社会資本整備、教育、警察、防衛といった公的サービスを運営するための費用を賄うものです。</p> <p>警察署や消防署、市役所、公立病院、公園、ゴミ処理施設（しりしりすつ）、道路や橋の修繕など、毎日通っている学校でも、校舎や机、椅子（いす）、黒板、理科の実験器具、プール、教科書などです。こんなものにも税金が使われています。</p>  </div>	<p>5 学年児童や保護者への発表会に向け、自分たちの発表資料を再考することを告げる。</p>	<p>税の主体者は自分たち国民であり、税金の大切さについて理解することができたか。</p>

7 研究のまとめ

(1) 成果

- ・社会科や総合的な学習の時間等、他教科と関連付けたことで、学習時間を確保できた。
- ・自分たちの生活の中での税金の使われ方について学んだことで、公共施設や公共サービスについてより深く考えることができ、「大切に使おう」という意識が高まった。
- ・税について自ら課題をもち、調べる活動を展開する学習により、興味・関心を高め、税がどのように使われ私たちの生活を支えているのかを理解させることができた。
- ・事後アンケートの結果から、税金に対する意識や見方が変容し、より納税の大切さに



ついて考え、理解も深まったことが感じられた。

(2) 課題

- ・調べ学習をする上で、インターネットが主となってしまったので、参考となる資料や図書等の活用を取り入れれば良かったと反省している。
- ・6年生の社会科や総合的な学習の中に今回の活動を位置付け学習時間を確保することができたが、低学年のうちから発達段階に合わせて継続していく必要がある。その実施例や体系化が十分ではないことが課題の1つである。

(3) 事後調査①についての考察

- ・ほとんどの児童の回答から、税金の必要性について意識が高くなってきた。
- ・税金の種類については、調べ活動の中で多くの種類があることに気付いた児童が多くなった。
- ・家庭内で「税」について話題にする機会も増えてきたようである。今後、保護者への発表会を予定しているが、事後調査②では、さらに増えることが予想される。

税に対する事後調査①

令和7年10月実施
(欠席2名)

①税金は必要だと思いますか。

	人数	記述内容(複数回答)
必要	33	町(公共施設や公共サービス)がなくなりたなくなる。(28) 税金が国やみんなをささえているから。(9) 税金がないとみんなが不便になる。(5) 国や県のためになるから。(3)
どちらかといえば必要	1	町(公共施設や公共サービス)がなくなりたなくなる。(1)
必要ではない	0	
わからない	0	

②税金にはどんな種類がありますか。(複数回答)

- ・消費税…34人
- ・所得税…25人
- ・住民税…20人
- ・ガソリン税…17人
- ・自動車税…16人
- ・たばこ税…16名
- ・酒税…11名
- ・固定資産税…5人

- ・ 独身税… 5 人
- ・ 森林保護税… 2 人
- ・ とん税… 1 名

③お家で税について話題にしたことがありますか。

	人数	記述内容
ある	28	税金が高いことについて。(10) 103万の壁について。(10) 消費税について。(5) 税について家族(親)が説明してくれた。
ない	6	

(4) 今後の展望

- ・ 12月の授業参観で、今回学習して分かったことを保護者に向けて発表する予定である。そして、家庭でも更に話題にしてもらいたいと思っている。
- ・ わたしたちの願いをかなえるために税金が使われているということについて、今後の学習活動の中でも触れる機会を意識しながら設定し、将来の納税者としての意識も育んでいこうと考えている。

